



民の声が をつくる

まちづくり懇談会



町民の皆さまのご意見を

直接お聞きする貴重な機会

毎年、町内各所で行っている「まちづくり懇談会」。今年も地域会館などを会場として、全10回が行われました。

「まちづくり懇談会」とは、俱知安町の町政や未来像についてのご意見や、俱知安町で生活していて気になった点、改善してほしい点などを町民の皆さまから直接お聞きする場です。懇談会には町長以下町の幹部が参加し、町民の皆さまとの意見交換を行います。

懇談会を開催するにあたって、福島町長は次のように述べています。

「この懇談会は、少しでも町民の要望にこたえるため、行政としてできるだけ町民の声に耳を傾け、町と町民が情報を共有できるように行っております。予算の関係上すぐできるものとそうでないものがありますが、行政は継続なのです。皆さまの声を聞き、一つ一つ進めてまいりたいと思います。」

今月の特集では、「まちづくり懇談会」で出たご意見を、一部ではありますがご紹介いたします。

◎ 町内会管理の街路灯にかかる
電気代の負担が厳しい。

▲ LED への切り替えを。

町も助成しております。

〈町民の声〉

電気料金の値上げも予定されております。町内会で管理している街路灯の電気代について、町内会費からの持ち出し負担が厳しくなってきました。LEDにできれば安くなるのですが、LED化にもお金がかかります。町として、この事態をどのように考えてるか聞かせてください。

〈町の回答〉

電気料金の値上げについては、町としても従来より3〜4千ほど上乗せになるため、非常に苦勞しております。先日、京極の水力発電所1号機が稼働し、1基あたり20万kwの発電量で、2、3号機が来年以降に稼働予定です。それによって良くなるのではないかと考えています。

街路灯の電気代ですが、町からは85%を助成し、残る15%を町内会にご負担いただいております。従来の白熱灯の取り換えや新設置の場合の助成額は2万5千円でしたが、LED化推進のため、LEDに切り替える場合の助成額を5万円に増額しています。担当から各町内会にLED化を希望する灯数をお聞きます。各町内会には、ぜひLEDへの切り替えを計画していただきたいと思っています。



◎ じゃがりん号を郊外地区まで
延ばしてほしい。

▲ 郊外型の公共交通の在り方は
力を入れて検討すべき課題です。

〈町民の声〉

地域の高齢化が進んでおり、年々市街地の方へ出るのに苦勞する人が増えてきております。市街地ではじゃがりん号が走っていますが、郊外地区にも延ばしてもらえないだろうか。

〈町の回答〉

じゃがりん号のようなまちなか循環交通は、一周50分というのが利用者にとって一番利便性が高く、それ以上長くなると時間がかかるからやめようという人が増えるという調査結果があります。現在は実験を経て、東西・南北の2ルートで50分で回れる範囲で走っております。郊

外地区についてはじゃがりん号をそのまま延ばすという方法ではなく、別の仕組みが必要ではないかと考えています。路線バスやハイヤーとの関係も考える必要があります。町としても、郊外型の公共交通の在り方は、今後力を入れて検討する必要がありますと考えております。時間をいただくことにはなりますが、地域の方ともお話をしながら、実態に合うような形を検討してまいります。

◎ 樺山地区に
バス停を設置してほしい。

▲ 今年の12月から
樺山停留所が設置されます。

〈町民の声〉

樺山地区のバス停は、現在ある樺山小学校前の停留所の次はニセコ町付近までは停まりません。昨年11月に一度樺山停留所が設置されましたが、いつの間にか撤去されていきました。何とか設置していただきたい。

〈町の回答〉

町内会の方から、樺山へのバス停設置の要望を受け、バス会社に伝えたところ、昨年11月に一度設置されました。しかし、バス停の設置に若干問題が発生しました。撤去されてしまいました。町からも継続して設置を協議していましたが、ニセコバスについては今年の12月から開始の冬ダイヤ運行に合わせて、樺山停留所が設置されます。

◎ 東陵中学校校舎の
後利用はどうなりましたか。

▲ 福祉施設としての活用を
検討してまいります。

〈町民の声〉

東陵中学校の校舎について、どのように利用していくことを考えていますか。

〈町の回答〉

保育所を統合して東陵中学校に持ってこれないかという話もありましたが、研究・検討の結果、相応しくないと判断しました。現在は、高齢者の生きがい事業や、障害児の就労促進事業、高齢者事業団や発達支援センターに移ってもらうなどの案も出ており、さまざまな面で検討しております。なかなか手を付けることができません。本当に申し訳ないと思っておりますが、何とか福祉施設としての活用を目指して、検討を進めてまいります。





**Q エリアマネジメント条例は
今後どのように進むのですか。**

**A 現在は、法的に分担金の徴収が
可能かどうかを精査しています。**

〈町民の声〉

エリアマネジメント条例について新聞等では、本来は町内会で管理している街路灯やロードヒーティングなどの費用について、分担金の徴収条例をつくることで町が徴収し、それを地域に返すものだと聞いています。この条例が議決されたことで、今後どのように進むのですか。

〈町の回答〉

ひらふに外国人が大勢来ており、多くの土地が、地元に住んでいない外国人所有になっています。地域の維持活動をする住民が少なくなった地域が拡大する一方、「住みなくなるリゾート地」であり

続けるための検討が始まりました。リゾート地の環境整備に使うお金を外国人の方からも取ってはどうか、分担金の制度を使えばいいのではないかとということで、ひらふ地域の人たちが立ち上がり、議員提案という形で議決されました。

条例の議決を受けて、町は徴収等について別の条例を定めていくこととしています。その財源を活かし、町が認定するエリアマネジメント法人が行う事業計画に必要な経費を交付し、リゾート環境の整備に充てることとなります。

現在は、この条例が法律に照らし合わせて問題がないのかどうかを精査しています。北海道、北海道町村会、総務省等へも相談しながら進めてまいります。かなり時間がかかっておりますが、しっかりと見極めていきたいと思っております。

**Q 寒別橋の補修工事の
進捗状況を教えてください。**

**A 今のところは順調に
進んでいます。**

〈町民の声〉

寒別橋の補修工事が始まりましたが、進捗状況について教えてください。

〈町の回答〉

本来なら1年で終わるところが2年にまたがっており、本当に申し訳なく思っております。10月1日より工事が始まり、3月20日までが工期となっています。皆さまにはご迷惑やご不便をおかけしております。工事は今のところ順調に進んで

います。工期も、3月10日前後に終えることができれば良いと思っています。

**Q 393号線の防雪柵について、
春先には早めに畳んでほしい。**

**A 雪融けが早く進むよう、
引き続きお願いしていきます。**

〈町民の声〉

393号線の防雪柵ができたことで、地域としてはとても喜んでおります。ただ、春先には柵の影にある雪が融けず、気毒になるほど雪が残っていました。何とか早めに畳んでいただけませんか。

〈町の回答〉

町としても、防雪柵の裏側にたまる雪のことは心配しており、開発の方には昨年の設置の時にその話をしております。春先に早めに畳むことで、雪融けも早く進むと思いますので、引き続き開発にお願いしてまいります。



**Q 新幹線の建設には、
どれくらいお金がかかりますか。**

**A 今後の検討結果によって、
額は変わってきます。**

〈町民の声〉

新幹線について、町の持ち出し金額はどれくらいになるのでしょうか。心配している人もいます。

〈町の回答〉

倶知安町の場合、駅付近の区域分と駅舎の建設にかかる費用について持ち出しということになります。この費用全体の3分の2が国で、3分の1が北海道の負担です。倶知安町の負担は、北海道のさらに10分の1ですので、全体の30分の1ということになります。ただ、金額については確定されたものではなく、まだお話しすることができません。今年は検討委員会を立ち上げ、新幹線を通じたまちづくりの検討を進めてまいります。どのように進めるかによって費用も変わってきますので、今後いろいろなご意見を聞きながら進めてまいります。

ここに掲載されているのは、懇談会で出された意見の一部を抜粋したものです。各会場での意見交換の内容は、町ホームページで公開しています。また、町企画振興課でも閲覧可能です。年明け以降になりますが、町内会単位で回覧もいたします。

■お問い合わせ／

町企画振興課広報広聴係 ☎56-8001